

富海地域活性化協議会の取組み

2025.4.1

富海地域活性化協議会

1. 富海地域活性化協議会の目的と目標（制定：2018.7.24）

〔目 的〕

「富海地域の歴史・環境等の資源を活かした産業の活性化及び教育・福祉事業の充実により、生き生きと明るい住みよい町をつくり、若者の定住、他地域からの転入者を増やし、人口減少に歯止めをかける」

〔目 標〕

これまでの人口推移が続けば、富海の人口は2028年に1,578人まで減少するが、富海夢プランの実行により、+122人の人口1,700人を目指す」

2.富海地域活性化協議会の組織構成

16名

2025年4月1日現在

名 称	氏 名	備 考
富海地域自治会連合会会長	椎木 幸成	
富海地区社会福祉協議会会長	津穂 敬信	
富海地区民生・児童委員協議会会長	池永 日出夫	
防府市立富海小中学校校長	曲 浩範	
富海公民館長	廣中 敬子	
海風ファーム代表	宇多村 史朗	会計
富海史談会会長	出穂 稔朗	
琴音の風代表	橋本 守	
富海海水浴場組合組合長	宇多村大輔	
ふれあいステーション21代表	福井 清治	会長
JA山口県防府とくち富海女性部代表	末富 恵子	
防府市食生活改善推進協議会富海支部長	松原 睦美	
とのみまちづくり社代表	今村 信一	
とのみまちづくり社理事	森重 泰信	
富海防災士会会長	見延 吉雄	監査
とのみ観光農園代表	工藤 寛之	副会長

3.富海地域活性化協議会の主な活動実績（2018~2024年度）

(1)2018年度

①富海地域の情報を紹介するホームページの開設

おいでませ富海

富海ってどんなところ？富海のいいところってどんなところ？

ホーム 協議会情報 教育 暮らし 歴史・文化 農業 レジャー・スポーツ 観光 お問い合わせ

教育



防府市立富海小学校・富海中学校

富海では小中一貫教育を行っています。特に英語教育に力を入れており小学校一年生から外国人の（ALT）外国語指導助手を迎えるなど英語指導に力を入れています。少人数制ということもあり生徒のわからない部分もサポートを心がけています。留守家庭児童学級も併設、地域住民も子供達のことを宝物だと強く考えており地域教育もしっかりと行われています。

②旧富海保育所建屋の解体支援と跡地を有効に活用するために必要な図面の作成・提案



旧保育園建屋



解体整地後

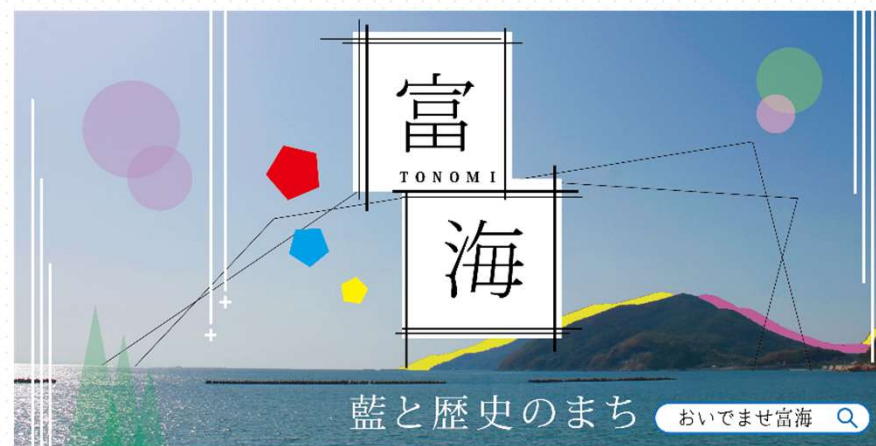
(2)2019年度

(1)富海の自然・史跡・食事処等を紹 介するマップ図の作成

(2)藍と愛の郷、藍と歴史のまち富海
をアピールする看板を富海駅と公民館
駐車場に設置

周南市のYICキャリアデザイン専門学校の生徒さんたちにデザインしてもらいました





(3)2020年度

- ①富海の自然・地域産業等をドローンで紹介するイメージビデオを作成しホームページで紹介



ホームページ動画



食堂 きさんねー

- ②昭和30年頃の富海を紹介するDVDの製作
③富海小中学校生涯学習教室の飾り制作
(藍染の飾り・のれんの制作、
ガイドブックの作成)

藍染め工房「草衣 so-i」 大道竜二 作品



藍染飾り・のれん

(4)2021年度

- ①富海地域住民アンケートを実施、アンケート分析・報告書の作成、地域の皆様への配布
回答者 1,188名のうち、有効回答者数1,147名、富海の18歳以上の人口1,708人
回収率67.2%

主な質問（全11項目）

- ・ 日常生活の不安・困っていること
- ・ 満足度と重要度
- ・ 地域でやってみたい活動、これなら協力できる活動
- ・ 富海の魅力
- ・ 空き家等を活用し、新たな定住者を受け入れるべきだと思いますか？

- ②富海にお住いの皆様への情報発信を目的とした、LINE公式アカウント（とのみん）を開設

とのみん登録説明資料

○主な情報

- ・ イベント情報
- ・ 防災マップ
- ・ 町内情報

○11/9現在の友達登録

- ・ 149名

富海 LINE（とのみん）使用方法

■お友達登録と基本操作

①QRコードの読み取り
②追加をタップ
③トークをタップ
④メニューをタップするとボタンが出ます
⑤もう一度メニューをタップしてボタンが出ます

■お役立ちメニューボタン

① 富海のお知らせを開く
② 富海のお知らせを開く
③ 富海のお知らせを開く
④ 富海のお知らせを開く
⑤ 富海のお知らせを開く
⑥ 富海のお知らせを開く

運営：富海地域活性化協議会

富海 LINE（とのみん）使用方法

■トーク画面への行き方

①LINEホーム画面、すべて見るをタップ
②公式アカウントをタップ
③とのみんをタップ
④トークをタップ
⑤トークに話す、おしゃべりする
タップ：画面を軽く叩く

■お知らせ掲示板への行き方

①LINEホーム画面、すべて見るをタップ
②公式アカウントをタップ
③とのみんをタップ
④お知らせをタップ
⑤お知らせを見る！

※お客様からの返信は致しません

運営：富海地域活性化協議会

(5)2022年度

富海地域アンケート結果を踏まえ、アンケート分析をしていただいた山口大学と今後の取り組みを検討し

富海地域と山口大学が連携し、富海海水浴場を中心とした地域おこし事業
「誰もいない海と地域の復活プロジェクト」への取り組みを決定

なぜ富海海水浴場なの？

富海地域アンケートの実施（2021年9～10月）

- 富海の魅力 ・ ・ ・ ・ 1位 景観・自然環境 644人（34.2%）
※富海海岸・海水浴場を整備充実して欲しいという意見が多かった
（夏のイベントの開催、海水浴場の宣伝、キャンプ場・駐車場の整備、ビーチサッカー場の常時整備など）
- 地域でやってみたい活動、これなら協力できる活動 ・ ・ ・ ・ 1位 草刈り・河川清掃など環境保全対策
※自然を守りたい
- 空き家等を活用し、新たな定住者を受け入れるべきだと思いますか？
思う576人（48.4%） 思わない16人（9.0%） わからない371人（31.3%）



富海的环境保全と地域資源（海）の活用、定住促進、空き家対策・活用を目指し取り組もう！



一般財団法人 地域活性化センター 地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業助成金
交付決定（4月3日） 倍率1.78（33/58）

富海海水浴場を中心とした地域おこし事業
「誰もいない海と地域の復活プロジェクト」キックオフ！！

2022年度活動実績

- 2022年8月9日 : 富海地域活性化協議会との初回打ち合わせ@山口大学
- 2022年9月9日 : 学内第1回ミーティング（顔合わせ・アンケート報告書）
- 2022年9月28日 : 山口大学教員・学生富海訪問
- 2022年10月13日 : 山口大学内第2回ミーティング（顔合わせ・富海の紹介）
- 2022年10月21日 : // 第3回ミーティング（顔合わせ・アンケート報告書）
- 2022年10月26日 : // 第4回ミーティング（アイデア出し）
- 2022年10月30日 : 山口大学生・教員富海訪問（きいさんねー感謝祭）
- 2022年11月2日 : 山口大学内第5回ミーティング（アイデア出し2022年）
- 2022年11月9日 : // 第6回ミーティング
- 2023年1月20日 : 一般社団法人地域活性化センター
令和5年度地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業助成申請
（一般事業）
- 2023年3月 : 一般社団法人地域活性化センター
上記申請採択決定（33/58、倍率1.78）

(6)2023年度 誰もいない海と地域の復活プロジェクト

＜事業目的＞ 富海の自然豊かな海の資源を活かした観光・事業プランを提案・実現することにより、富海の良さを多くの方に知ってもらうと共に、定住者を増加させ、地域全体の活性化につなげる。

＜事業内容＞

①コンペティションの開催

富海海水浴場と周辺地域の空き地を活用し、自然・遊び・食・田舎が体験できるような観光地としての整備、自然と地域との調和が可能なビジネスの創出や企業等の誘致を目指した**コンペティションの企画・運営・審査**をし、事業の実現・事業提案書の作成に向けて**山口大学の大学生・教員と富海地域活性化協議会が協働して活動する。**

②地域学習セミナーの開催

コンペティションの企画・運営に際して、**地域住民や地域の専門家を招いた地域学習のセミナーや講座、勉強会**を開催し、大学生が地域に存在する様々な課題について学ぶ機会を与える。

③イベントの開催

PR活動の一環として、山口大学の大学生を対象に、コンペティションの**「イベント」**を富海地域で開催し、地域の資源を活かしたアイデアの構想・提案のきっかけ作りを創出する。

誰もいない海と地域の復活プロジェクト活動実績

①2023年6月13日：地域学習セミナー（山口大学）

講演者：AIMA(今村)、とのみ観光農園(工藤)、史談会(出穂)

②2023年7月16日：第1回プレイベント（富海）学生6名

歴史・史跡の紹介、AIMA藍染体験、ワークショップ

③2023年8月5日：第2回プレイベント（富海）学生20名

ビーチサッカー体験、歴史・史跡の紹介、とのみ観光農園農業体験他、ワークショップ

④2023年12月17日：コンペティション（富海小中体育館）

応募総数96作品の中から15作品を選出し、二次審査コンペティションを開催した。開催の様子はK R Y山口放送で特集されるほどで、この取り組みを多くの方に知って貰うことができた。



藍染体験



ワークショップ



コンペ受賞者の皆様

地域おこしコンペション

コンペティション（二次選考）結果

審 査 結 果			
順 位	企 画 名	発 表 者	所 属
1位	日本一の17才を決める「輝く！17才日本選手権」	野村 真由美	一般
2位	富海花火大会	山脇 優里愛	防府商工高等学校
3位	誰もが来たくなる海と地域へ～富海をバズらせよう～	神足 玲那	一般
審査員特別賞	みんなで育てる喫茶店～雑貨とともに～	田中 蒼彩	防府商工高等学校
審査員特別賞	富海地域の観光・活性拠点づくり～富海を知ろう。活性化への第1歩目。～	池田 琴音	山口大学
佳作1	人を繋ぐ、富海を繋ぐ、未来を繋ぐ「つながり公園」	櫻井 つぐみ	山口大学
佳作2	「すこやか」で「はつらつ」な富海	鍋島 紀美代	一般
佳作3	富海を知って味わう広場	林 真斗	徳山工業高等専門学校
佳作4	誰もいない海～二人の愛のために～	高橋 虎太郎	山口大学
佳作5	スポーツウィーク Tonomi	メガ ミラサプトゥリチャンディ	山口大学
佳作6	マリンスポーツで誰かがいる海へ	津野 早苗	一般
佳作7	飛び船レース大会	相本 勲	一般
佳作8	海辺にキッチンカーを呼びたい	田中 加奈枝	一般
佳作9	楽しい！美味しい！富海ビーチ！	清水 満洋	一般
佳作10	空き地を利用した持続可能なテントサウナ	伊田 名央人	山口大学

※佳作は順不同

(7)2024年度

①「富海地域おこしコンペ」優勝作品の実現に向けた協議

「輝く17才日本選手権」実現に向け、活性化協議内に17チームを立ち上げ、月1回程度会議を重ね、11月に富海海水浴場で体験型のキャンドルイベントと17才が企画した楽しめるイベント開催を決定。

②山口大学学生による現地調査・分析・提案書の作成

「富海海水浴場」という地域の重要な資源に着目し、夏だけではなく季節に関係なく楽しめる「地域イベント」を開催することで、海水浴場という資源の活かし方の向上を学生が研究・提案した。「富海ひかりフェスタ」イベントを12月に開催し、海水浴場の砂や貝殻を使用した「ジェルキャンドル作り」のワークショップの開催や、砂浜を音楽とともに7色に彩るイルミネーション、豚汁等の無料配布などを行い、約500名の方が来場し大盛況であった。

③富海観光プラン事業

- ①観光プランコースの設定（歴史探索コース2時間2パターン、自然散策5時間コース）
- ②スマホで観光プランやビュースポット景色が読み込める仕組みを構築し、QRコード付きの観光案内板を富海駅に設置。
- ③景色の良い箇所へのビュースポット看の設置及び観光客の安全を確保するための転落防止柵の設置。



富海ひかりフェスタ



富海観光案内板

4.2025年度の活動計画

(1)富海シーサイドキャンドルフェスの開催

11月1日(土)17:00~21:00、予備日11月2日(日)に富海海水浴場で、防府商工インターアクト部、徳山高専、山口大学の協力による富海シーサイドキャンドルフェス（17オプロジェクト）を開催する。フォトスポットの設置、LEDによる彩り、竹灯籠の設置、ランタン制作・飛ばし、砂浜を虹色にライトアップを行い、子供から大人までが参加できる体験型のフェスを開催する。

(2)山口大学学生によるエコツアーリズム

山口大学国際総合科学部4年生5名が、富海の地域の資源を詳細に分析し、とくに自然環境（海水浴場）に着目し、五感を活かした体験型観光の在り方や、自然環境と地域振興の関係を検討・提案する。富海地域周辺の現地調査・分析、人々のニーズを聞くアンケート調査などを重点的に行い、富海地域を事例とした地域活性化の提案と実践を行う予定である。富海地域住民と連携しつつ、2025年度に実施される様々な地域のイベントとも連携を図る予定である。

(3)憩いの花畑事業（2026年度）に向けた協議及び中国地方地域づくり等助成金事業への申請（10月～12月）

富海の中心部に位置するJAとのみ支所の前面には菖蒲畑があり、隣接する清水家住宅主屋は登録有形文化財に指定され富海の貴重な財産であるとともに、地元の方が運営するマルシェが毎週水曜日に開催され賑わいをみせている。当協議会では、菖蒲だけでなく、春から秋まで楽しめるハーブや花を植えることにより、多くの方に長く楽しめる「憩いの花畑」をこの場所につくりたいと考えている。また、花畑の中心には東屋を設け、コーヒー等が楽しめる場も提供し、マルシェと花畑がコラボしたイベントも開催したいと考えている。花畑のレイアウトや東屋の設計・建築は徳山工業高等専門学校の生徒たちが行う。花畑はペットと歩きながら花を楽しむようなつくりとし、東屋とベンチは、アイデアあふれた斬新なデザインとし、これを見にわざわざ遠くから訪れるような物をつくりたいと考えている。

ペンキ等の軽作業は富海中学校の生徒も参加して物づくりの楽しさを学び、中学校の花壇エリアでは花を育てる取り組みも行いたいと考えている。また、東屋に使用する木材は地元の銘木店から調達し、木材の加工は畑の近くにある工務店で高専生徒たちが行い、地元の企業と連携した取り組みを考えている。土壌・花壇づくりは農業に精通した方の協力を得ながら地域ボランティアと協力して行い、地域一体となった運営管理をしていきたいと考えている。



5.活性化協議会の課題

(1)地域への活動内容の周知と地域との交流機会を増やす

5.今後の活動について

(1)地域住民の巻き込みと知名度アップ

富海海水浴場で開催する「富海シーサイドキャンドルフェス」により地域住民の方に活性化事業に興味を持ってもらい、メンバーを増やしていきたいと考えている。また、防府コンペンション協会の協力を得て、防府のイベントとして定着させ、富海の魅力を発信することにより、認知度アップに繋がって行きたいと考えている。

※小中学校・PTAとの連携がポイント

(2)富海小中学校のサポート

富海から子どもたちの声が聞こえなくならないように、富海小中学校のサポートを中心に活動して行きたいと考えている。

富海地域から小中学校が無くなれば間違いなく富海地域は衰退してしまいます。富海小中学校の英語を核にした教育を地域内外にアピールし、児童・生徒数を増やすサポートを行い、他地域からの移住者増に繋がりたいと考えている。

また、大学、高校との地域活性化事業に小中学生を巻き込み、地域学習による人材育成にも繋がって行きたいと考えている。